

2019年9月12日

お客様各位

日本化薬株式会社
アグロ事業部

「ダイアジノン®粒剤5」登録内容変更のお知らせ

拝啓

時下ますます御清祥の段、御慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたびご愛顧いただいております、殺虫剤「ダイアジノン®粒剤5」（登録番号第10438号）が、2019年9月11日付で登録内容変更となりましたのでお知らせいたします。変更後も引き続き「ダイアジノン®粒剤5」をご愛顧いただきますようよろしく願いいたします。

敬具

記

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名
第10438号	ダイアジノン®粒剤5	ダイアジノン粒剤
		ダイアジノンは日本化薬(株)の登録商標

■変更内容

下記の通り「適用作物名および病害虫名」および「使用上の注意事項」の登録内容が変更になりました。

農薬登録申請書第7項について、以下のとおり変更し、別紙1とする。（変更部分のみ）

- ・作物名「えだまめ」に適用病害虫名「マメシクイガ」「カメムシ類」「シロイチモジマダラメイガ」「ダイズサヤタマバエ」及び「フタスジヒメハムシ」を追加する。
- ・作物名「畑わさび」を追加する。
- ・作物名「らっきょう」を追加する。

農薬登録申請書第8項（6）に以下を追加し、以下繰り下げて別紙2とする。

- （6）畑わさびのワサビクダアザミウマの防除に使用する場合は、越冬成虫出現期～第一世代幼虫最盛期に散布すること。

■本剤に関する問い合わせ先

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

日本化薬(株) アグロ事業部 営業部 営業企画担当

電話：03-6731-5321 FAX：050-3730-7867

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

日本化薬株式会社

別紙 1

適用病害虫の範囲及び使用方法

【変更部分のみ】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
えだまめ	コガネシジメ類幼虫 タネバエ	4～6kg/10a	収穫 30 日前 まで	5 回 以内	作付前: 全面土壌混和又は 作条土壌混和 作物生育中: 作条処理して軽く 覆土	6 回以内 (種子粉衣は 1 回以内、 粒剤は 5 回以内 (生育期の処理は 4 回以内))
	マメシジメ類 カメシジメ類 シロイモシメ類 ダシメ類 サタマバエ			4 回 以内	散布	
	フタスジヒメハムシ	6kg/10a		5 回 以内	土壌表面散布	
	ネリムシ類					
畑わさび	ワサビクダアザミウマ ワサビリイロサルソウムシ	3kg/10a	収穫 75 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
らっきょう	ネリムシ類	6kg/10a	収穫 21 日前 まで			

別紙2

使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使い切ること。
- (2) 畑作物の土壌害虫防除に使用する場合は下記の事項に注意すること。
 - ①使用薬量は全面処理の場合の薬量であるので、作条処理の場合は処理面積に応じて薬量を減ずること。
 - ②植付前又は播種前に土壌全面又は作条に処理し、土壌とよく混和すること。
なお、タネバエおよびコガネムシ類幼虫に対して作物の生育期に使用する場合は作条処理し軽く覆土すること。
- (3) とうもろこしのアワノメイガの防除に使用する場合には、出来るだけ穂、茎葉にかかるように散布すること。
- (4) とうもろこし及び飼料用とうもろこしに茎葉散布する場合には、部分的に薬剤が集まると薬害を生じるおそれがあるので、葉の付け根など1ヶ所に固まることのないように均一に散布すること。降雨や朝露などで葉上に水滴があると薬害を助長するので、朝夕や降雨の前後には使用しないこと。
- (5) 芝のシバツトガ、スジキリヨトウ、シバオサゾウムシの防除に使用する場合、土壌表面、芝表面にまきむらのないよう散布すること。
- (6) 畑わさびのワサビクダアザミウマの防除に使用する場合は、越冬成虫出現期～第一世代幼虫最盛期に散布すること。
- (7) ビニールハウス等の同一施設内において、収穫期が異なる作物を栽培している場合、本剤を土壌表面散布で使用しないこと。
- (8) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ②関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (9) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。
なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上